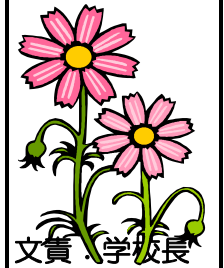


平成25年11月21日

小田北だより

尼崎市立小田北中学校 学校通信 その2



■人権学習：“共に生きる”ために実践力を 12/4～10は人権週間



小田北中では、1年：手話、2年：点字、3年：車イスと3年間を通して、体験に基づき身体の不自由な人と“共に生きる”ということについて考える学習をしています。8日(金)には、点字サークル：堀口

さんを始め、ボランティアの方がたくさん来校されました。講演は、生徒の質問に応えるという形で進められ「食事はどうやって?」「苦労したことは?」「嬉しかったことは?」「どんなスポーツを?」など活発に質問が出ました。「特技はありますか?」では、いきなりハーモニカ演奏を披露されて驚きと共に感心しました。その他、ブラインド卓球で県大会出場したとか料理が得意などそれぞれの方が前向きに生活されている様子が想像できました。“自分も頑張らなくては…”と思った人が多かったのでは?その後教室で、ボランティアさんに実際に点字を教えて頂きました。点字の存在をただ知っているだ

けと少しでも実習経験したとは違います。

22日(金)は、1年：手話教室が行われます。これらの行事を一つの機会として色々な人の立場を知り、共に生きていこうとする心を養い広げて欲しいと思います。又、講師の方やボランティアの方から自分に負けない、前向きに生きる、他人のために行動するなど“生き方・生き様”というものも感じ取ることが出来れば、よりよい体験教室となります。今後の生活で、実際に“共に生きる”ということを実践するかが問われています。

2年生の感想文を読んでいますとそれを理解し実践出来るような人が多くて嬉しくなります。「学年通信」より紹介します。

＊「目が見えなくても新しいことにチャレンジしたりつらくても楽しいことを見つけて活動してて、生き生きしておられるんだな、と思いました」K・Kさん ＊「とてもしんどいことだなと思いました。町で目の不自由な方を見かけたら、手伝いたいと思います」R・I君 ＊「私は、講師の方々のお話をうかがった後、友達とアイマスクして歩いてみました。いつも上がり下がりしていた階段の感覚が分からなくなったりして、少し恐かったです」R・Kさん ＊「点字を打つのは初めてで難しかったけど、だんだん慣れてきて楽しかったし、自分の名前が何も見ずに点字で打てるようになったので嬉しかったです」



祝 おめでとう！

★市中学校読書感想文

準特選 辰巳真結(3年)

「永遠の0を読んで」

準特選 松井那奈(2年)

「博士の愛した

数式を読んで」

入選 金田里捺・鶴谷円香

(3年)

山田七海・濱口周仁

(2年)

島和暉・西角香凜・

竹西あかね(1年)

11/8 教育総合センターに

て発表会があり表彰！

★人権作文

優秀 平川 芽衣(1年)

入選 満尾 亘輝(2年)

入選 坂口 未羽(3年)

入選 小助川千聖(3年)

＊満尾君、小助川さんは2年連続の受賞です！



D・K君

■英語祭：暗唱・スピーチ・ESS 部も頑張る

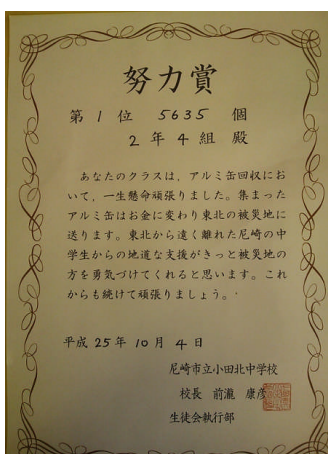
13日（水）に園田学園中高ホールで第64回市英語祭が行われました。本校から暗唱部



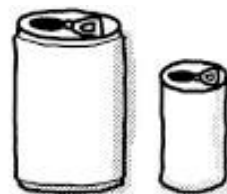
＜たくさんさんの聴衆の前での発表＞

門：馬場一磨君（3年）、スピーチ部門：森愛花さん（3年）、舞台表現部門（昨年度から劇と特別部門が統合された新設部門）：ESS 部が“The Back Of The Elephant”で出場しました。ESS 部は昨年に引き続き視聴覚機器を利用したプレゼンテーションでした。昨年度、銀賞を受賞したKさんは高校へ進学してからも、英語を中心にかなり頑張っているとのことでした。出場者はどの学校も皆、表現豊かに表現していました。今後、グローバル化が一層進みます。これをきっかけに話す英語・表現出来る英語により一層頑張るって欲しいものです。

■アルミ缶回収… 全校的取り組みの成果



生徒会により、東日本大震災支援の一環でのアルミ缶回収の2学期集計があり、努力賞1位：2-4（5635個）、2位：3-4、3位：1-3と各学年からの選出となりました。



今までは、努力賞がある学年に偏る傾向がありましたが今回、どの学年もかなりの数でそれぞれの学年から入賞が出ました。生徒会の呼びかけ等全校的取り組みの結果です。日本赤十字社では、募金活動は終了とのことですが、生徒会は東日本大震災の復興はまだまだということで今後も続けていくとの方針を発表しました。3学期末に向けての回収は既に始まっています。お家等で「アルミ缶を見たら学校へ…」で協力しましょう。

■今年も始まる 一持久走での頑張りー

暦の上ではもう冬です。日に日に寒さが増しています。先日より、男女とも体育の授業で持久走をして頑張っている姿が見られます。ランキング表が学年別に事務室前に掲示されていますが、自分や友達の記録を興味津々眺めている人が多いです。男子では、やはり上位は陸上部ですが、バスケット・野球・外サッカーの人も善戦しています。持久走は、頑張れば頑張るほどタイムが向上する可能性が高いです。ランキング表に名前が載らない人も自分の目標タイムを決めて頑張ってみたら、より充実感がきっとあることでしょう。



■進学について：「学校推薦」とは…

予備懇談会も終わり、3年生は12月16日からの個人懇談会では、いよいよ希望進路を決めていきます。その中で公立・私立高校を問わず「学校推薦」があります。これは、本人が希望するから受検できるというものでなく学校の推薦が必要なのです。まず、関係の先生で編成される推薦委員会というもので高校が設定している基準（志願理由・成績・生活行動面など）において、基準に

当てはまるか検討協議され、面接等を経て校長が決定するものです。成績面では各高校で違いますが生活行動面では、法律違反は元より、風紀違反を繰り返す人や他人に迷惑をかける行為をする人、先生によって態度を変える人などは推薦に値しません。来年度からの公立高校通学区拡大で、普通科でも尼崎市から他市公立高校へ進学することも考えられますが、反対に他市の中学生が尼崎の公立高校を受検することも想定されます。1・2年生も公立高校等の“推薦”を目指す人は、“井の中の蛙”になることなく現状に満足せずレベルアップを目指して、日々精進する必要があるでしょう。